

別記様式（第8条関係）

研修費

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
30-09-25	21767	カード・送金
記号	番号	
*****	*****	9681
取扱番号	お取引金額	
N024	*20,000	
	残高	
1205	*	
楽天銀行 第二営業支店 普通 シャ)チホウキイソウケンキユウカイ	7520919	
送金料金 振込予定日 オノタ"ナオミ	*216円 30-09-25	
ご利用いただきましてありがとうございました。 — ゆうちょ銀行 —		

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
31-01-07	21767	カード・送金
記号	番号	
*****	*****	9681
取扱番号	お取引金額	
N108	*7,300	
	残高	
みずほ銀行 大津支店 普通 サ"イセ"ンコクシチヨウソウンケンシユウサ"イタ ンセ"	1705329	
送金料金 振込予定日 シンシロシカ"カイ オノタ"ナオミ	*216円 31-01-07	
ご利用いただきましてありがとうございました。 — ゆうちょ銀行 —		

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ならないように貼付する

平成31年4月10日

新城市議会議長 丸山隆弘 様

新城市議会議員 小野田直美

研修報告

「10周年記念特別セミナーin東京」

平成30年11月1日・2日 東京都中央区

目的／一般質問のポイントを学ぶ

1 【講義】「あなたの知らない議会のチカラ」

自治体経営コンサルタント 川本達志

- ・事実に課題があり、それを解決するものが議案である。事実と制度のギャップが課題であり、これを作ったり変えたりすることにより問題を解決していく。故に、検証する必要がある。議案を作れば（変えれば）課題は解決されるのか、議員はこれを評価していく。
- ・役人は、制度（現状）を守る為に仕事をする。議員は、現状に合うように制度を変える。役割が違う。
- ・議会改革について栗山町議会基本条例を例に。
- ・質疑・質問・討論の効用について。
- ・執行部との付き合い方について。等

2 【講義】「実践的な質問の仕方」

自治体経営コンサルタント 川本達志

- ・いい質問とは、住民全体の福祉の向上に関して「成果」を出す事。では、一般質問における「成果」とは何か

- 1) 市民への明確な情報共有
- 2) 隠れていた重要な課題の見える化
- 3) 課題解決のために政策提案をし実現する。
 - ・成果を出す一般質問の為の準備／現場調査（議員の強みを生かして、より多くの住民の本音を聞く）→課題の抽出（現行の制度を調べる。執行部との現状認識の共有と課題認識の共感が重要となる）→仮設の設定→検証による修正（住民や専門家、先行自治体に聞く。）→質問のリハーサル

3 【講義】「私がうなった質問はこれだ」

自治体経営コンサルタント 川本達志

- ・「政策提案型質問」の構造（質問を通じて執行部と一緒に政策・施策をつくっていく質問） 政策提案型質問の構造＝政策立案プロセス
 - 1) 現状認識／自分で確認し、数字をつける。さらに住民の視点に立った物語があると良い。
 - 2) 課題認識／正確な現状認識から現制度や地域事情を踏まえた課題であること。
テーマは続ける。1回の質問で決まるではない。テーマは一貫して深堀していく。
 - 3) 仮設／質問はプレゼンテーションである。共感と気づきがなければ人は動かない。
 - 4) 検証／当事者や住民の意見を聞く。他団体の成功事例を参照する。専門家の意見を聞く。
- ・いい質問の絶対要件
 - 1) 現状認識が正確で共有できる
 - 2) 課題認識が時宜を得て共感できる
 - 3) 仮設（提案）が十分検証されている。

4 【講義】「財政関連質問のポイント」

自治体経営コンサルタント 川本達志

- ・財政関連質問の視点
 - 1) 持続可能な財政状況にあるのか
 - 2) 事業の成果は上がっているのか。改善すべきことはないか。
 - 3) 違法不当な収入・支出はないか。

- ・財政指標の見方
- ・施策事業の成果の見方
- ・交付税、臨時財政対策債について 等

●所感

政策提案型の一般質問をし成果を出す為には、ターゲットを絞り計画的で明確な流れに沿った質問を行う事が必要である。今まででは感覚でそれに近い一般質問をしてきたが、講座で改めて文字と図でわかりやすく示された為、さらに的を射る質問ができる可能性が高くなる。いつ、だれに対してどういった調査をし、それをどのように質問し、年間を通してどう展開していくのか、を行政の立場（副市長）に居た人から聞ける貴重な講座であった。

平成31年4月10日

新城市議会議長 丸山隆弘 様

新城市議会議員 小野田直美

研修報告

平成30年度市町村議会議員研修（2日間コース）

「防災と議員の役割」

平成31年1月10日・11日 滋賀県大津市

目的／災害時に議会・議員としてどのように行動するのか、その心構えと知識を学ぶ

1 【講義】「地域防災力を向上させるために」

首都大学東京名誉教授 中村一樹氏

- ・これから日本が迎える「超・超高齢社会」では、高齢者自身に自立・自助が求められる。まずは自助の努力を行った上で、共助の力で災害を乗り切る必要がある。その為に、平時から共助の取り組みについて考える。例えば、気軽に集まれる場所として「避難所」を普段から使うようにして、台風時等には避難者が集まり、そこでカラオケなどをして一晩過ごすのも良いのではないのか。

2 【講義・演習】「平時の防災と議員の役割」

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授 鍵屋一氏

- ・なぜ、人は逃げないのか→「自分は大丈夫」といった正常化の偏見がある為。
- なぜ、行政の災害対策の優先順位は低いのか→組織は「非日常」が苦手な為。

- ・「岩手県大槌町の災害対応～平野総務部長（現町長）に聞く」と題した東日本大震災時の行政の対応についての文章を読み、ワークショップ（ワールドカフェ方式）を行った。グループ（3名）で、文章から読み取れる課題と具体的な対応について意見を出し合い、私は、大槌町の平時の危機意識の薄さ、防災計画の見積もりの甘さ、災害時の業務の抱え込みなどを課題としてあげた。対策として、より具体的な防災計画や防災訓練の必要性、また職員を守る為にも、事前に地域との協力体制を構築していく事が必要であることをあげた。

3 【事例紹介】「災害時の避難所運営を経験して」

熊本県東区若葉工区自治協議会事務局長 峯山秀次氏 熊本市東区役所区民部総務企画課主査 漆野和也氏

- ・熊本地震発生当初から若葉小学校の避難所運営のリーダーとして活動していた峯山さんの話の奥にあるご苦労が垣間見えた。話の後で、議員からの質問が多くつたため、その中のいくつかをピックアップする。
 - 1) 運営委員の中に女性は居たのか、役割は？→9ある自治会の一つが女性の自治会長であった。その人がPTAや民生委員を呼び込み、炊き出し等の支度を行った。
 - 2) 避難所は何名の運営委員で回していたのか、避難者は何人いたのか？→常時7名程の運営委員がいた。避難者数は最大1600名、3日目に800名になった。
 - 3) 外国人の言葉の問題はどうだったのか？→外国人は言葉の意味や、なぜそれが必要なのかが理解できないようだった。今後は、外国人が集まりそうな校区は対策を立てておく必要がある。
- ・対策として大切な事は、1.避難所リーダーを事前に見つけておく。2.これは必ず必要である、という事を準備しておき、こまごまとした事はそのつど考える。3.チームで考える。

4 【演習】「災害時・復旧・復興期の議員の役割」

跡見学園女子大学観光コミュニティー学部コミュニティデザイン学科教授 鍵屋一氏・
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井恵美子氏

- ・「東日本大震災での宮城県東松島市議会議員の行動」と題した東日本大震災時の行政の対応についての文章を読み、ワークショップ（ワールドカフェ方式）を行った。グループ

(3名) で、文章から読み取れる課題と具体的な対応について意見を出し合い、私は、災害時に議会や議員としての機能が発揮されなかつたといった課題をあげた。東松島市議会では大災害時の行動についてのマニュアルがなく、各々の議員の情報共有も出来ていなかつた為何もできなかつたのだ。対策としては、災害時の行動指針、マニュアルやBCPなどを策定し、まずは議会・議員が災害についての知識と心構えを持つ事。その上で議会として防災訓練を行い、イザとなつた時行政の邪魔をせず役立つ議会・議員になることである。また、各自治体にも議会から策定をすすめてはどうか。意外にも、BCPを策定している議会や自治体が少なかつた。

5【講義】「ふりかえりとまとめ」

跡見学園女子大学観光コミュニティー学部コミュニティデザイン学科教授 鍵屋一氏

- ・これからは、課題解決・損失を減らす防災から、「価値創造型」の防災へ。日常から人間関係や近所関係を良好にし、排除される人がいない魅力ある地域を作ることが、災害や危機にも強くなる要となるのではないだろうか。

●所感

全体を通して、今まで私が考えていた防災の考え方と大きく外れることはなかつた。しかし、この考えを如何に実行に移せるのか、が今後の課題である。市全体が防災への意識を高くし、実際行動に移す為に議会はどうあるべきか、また議員として何をしなければならないかを考えた時に、まずは市民の声を聴く事から始めることが大切であると思い、所属する総務消防委員会では、市内6か所の地域を回り座談会を開催した。現在、政策提言に向けての取り組みを行つてゐる。